「2025年に向けた対応方針」総括表（令和５年８月更新版）

資料4

番号	医療機関名（開設者）		病床種別 一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床	計	指定・届出等 救急病院	緩和ケア病棟	地域包括ケア病棟（病床）	回復期リハビリテーション病棟	在宅療養支援病院	在宅療養後方支援病院	現状（病床機能）① 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟中	計	2025年（病床機能）② ※下段は現状との差（②-①） 高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟	計	介護医療院	機能変更あり（時期）	過剰な病床機能への転換	増床希望あり	特徴、得意分野、特筆すべき事項等	課題等	2025年に向けた方針（抜粋） 病床機能の変更予定（増床・減床を含む）	今後地域で担う役割	主な受入元	主な受入先
1	平塚十全病院	許可病床	57	173				230										230		230				162		162	56	●			昭和49年の開設以来、高齢者への心温かな医療と心優しい看護、さらに行き届いた介護を使命として、医療依存度の高い高齢者を対象に、医療サービスを中心に提供している。 また、専門的な立場からの慢性期医療の提供を積極的にアピールしたい。	療養病床では診療報酬制度上、包括算定となっているが、医療技術の進歩によって、より高度な医療と手間のかかる看護が求められるようになり、現在の診療報酬制度では、必要な対価が得られない患者もいる。	療養病床の一部を障がい者病棟に(慢性期・一般)に変更(2019年度)、介護医療院への転換に伴い介護医療院を計56床とする。(2020年度)	地域における慢性期医療、高齢者医療の一翼を担うと共に、在宅医療の分野においても地域貢献する。	平塚市民病院、平塚共済病院、済生会湘南平塚病院	大半が死亡退院。
	（医療法人社団水野会）	稼働病床	45	173				△218										218		218	-	-	-	△68	-	△68	＋56	2019，20								
2	ふれあい平塚ホスピタル	許可病床	90	35				125				○				40	50	35		125		40	50	35		125					脳血管障害、運動器障害の方を対象に、回復期リハ病棟において発症早期から在宅に向けて集中的なリハビリテーションを提供している。また、人工透析センターでは慢性腎不全などで維持透析が必要な方に対し、外来透析・入院透析を実施。在宅支援にも力を入れ、退院後の介護保険サービスによる支援も行っている。	地域包括ケアシステム推進に向けて、今後益々地域の医療機関や介護施設とのネットワーク作りが課題となっている。		地域における回復期機能の一翼を担う 平塚市南部（海側）地域のかかり付け医として、救急受入含め、地域に貢献していく	平塚市民病院・平塚共済病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・秦野赤十字病院・海老名総合病院・茅ヶ崎市立病院・小田原市立病院・小田原循環器病院・済生会湘南平塚病院・東名厚木病院・厚木市立病院・厚木佐藤病院・藤沢市民病院・湘南藤沢徳洲会病院・鶴巻温泉病院・足柄上病院・西湘病院・湘南鎌倉総合病院・横須賀共済病院・横浜市大病院・横浜医療センター・湘南東部総合病院・茅ヶ崎中央病院・湘南シルバーガーデン・湘南ふれあいの園平塚、等	自宅等（在宅） 急性期病院（湘南東部総合病院、平塚共済病院、平塚市民病院、東海大学病院） 療養病院（高根台病院・平塚十全病院・平塚病院） 高齢者施設（湘南シルバーガーデン、特養富士白苑、フィオーレ真田、あさひの郷、サニーライフ、ひまわりの里、のぞみの家、ふれあいの渚、ふれあいの百合）
	（医療法人社団　健齢会）	稼働病床	90	35				125				(50床)				40	50	35		125	-	-	-	-	-	-	-									
3	高根台病院	許可病床		236				236										236		236				236		236					療養病棟は医療療養型病棟、急性期医療を終えて慢性期医療を必要とする医療度の高い患者を受け入れ、医師の管理下で看護、介護、リハビリテーションなどの必要な医療を提供	人材不足を解消するため、働き方の見直しを行う。 2025年６月　新築移転開院予定（平塚市高村）病床種別・病床数変更予定なし。	（移転に伴う変更なし）	急性期医療の後方支援や在宅療養支援機能と言った急性期医療と在宅医療の橋渡し機能を担う	平塚共済病院、平塚市民病院	高根台ホーム、あさひの郷、フィオーレ湘南
	（医療法人研水会）	稼働病床		236				236										236		236	-	-	-	-	-	-	-									
4	くらた病院	許可病床		79				79										79		79				79		79					地域の透析患者の多様なニーズに対応できる医療療養型病院 充実したﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝを備え入院患者さんも安心して継続した治療が 可能			慢性期機能の一翼を担う、血液透析を実施する病院	東海大学医学部付属病院 平塚市民病院 平塚共済病院　済生会湘南平塚病院　しんど老人保健施設	東海大学医学部付属病院 平塚市民病院 平塚共済病院　済生会湘南平塚病院　しんど老人保健施設
	（医療法人倉田会）	稼働病床		79				79										79		79	-	-	-	-	-	-	-									
5	湘南大磯病院	許可病床	312					312	○						8	304	0	0	0	312	8	304	0	0	0	312					急性期医療、救急医療、透析医療、検針業務が主な診療の柱。高齢者の患者も多い地域であり複数の診療を総合的に診ることができる。腎臓・糖尿病内科で腎臓病及び糖尿病の診断治療、透析治療やシャント増設・トラブル対応を行っている。循環器内科は心臓のカテーテル治療に力を入れ、複数医師によるチーム体制で診療する点が特徴。脳神経内科は高齢の患者に多い神経難病等の特殊疾患、認知症にも対応している。	地域の医療需要を踏まえ救急医療の体制確保が課題、救急医師の確保。 東海大学大磯病院からの事業継承から2年後までに312床稼働予定	－	現状では心臓血管外科等がなく、これらの急性期治療はできないが、ゆっくりと症状が進む慢性期疾患は専門的な診断・治療が可能。外科系は消化器外科では各種がんの早期発見、整形外科ではリハビリテーション科と連携し治療と回復をサポート。泌尿器科、歯科口腔外科も主たる診療科。	救急搬送、フジエ歯科医院、井上整形外科、月京クリニック、簑島医院、大磯ハートクリニック、二宮しおみクリニック、平塚市民病院、東海大学医学部付属病院、その他（115施設183人）	東海大学医学部付属病院、高根台病院、鶴巻温泉病院、平塚市民病院、新横浜国際クリニック、ニューライフ湯河原、介護老人保健施設大磯幸寿園、在宅復帰率（94.1%、102人）
		稼働病床	102					102	告示						8	94	0	0	0	102	-	-	-	-	-	-	-									
6	鶴巻温泉病院	許可病床	140	365				505		○	○	○		○			245	260		505			245	260	0	505	52	●			特にリハビリテーションに特化した病院として、回復期リハビリテーション病棟を中心にPT、OT、STを数多く配置。 【多機能の慢性期病院】として、「どんな患者にも最期まで対応する」機能を保有。	昨今の平均在院日数の退縮化により病床稼働率が低下。在院日数が約1割低下している中で、それを補うべく1割増の新規入院の獲得に難渋している。	2018年度の診療報酬改定により、療養病床を1病棟「経過措置病棟」として届け出ている。医療区分は「1」であるが要介護度が高く、在宅が現実的ではない方の行方をなくさないために、この経過措置病棟を2019年４月に介護医療院へ転換済みである。	サブアキュート・ポストアキュート・在宅療養支援・リハビリテーション・看取りの複数の側面から、地域包括ケアシステムの中核を担うべく、近隣住民をはじめとした医療ニーズに応じられる医療機関として機能する。	東海大学病院、平塚共済病院、平塚市民病院、湘南鎌倉総合病院、西湘病院、足柄上病院 小田原市立病院、秦野赤十字病院、伊勢原協同病院、神奈川病院、東名厚木病院等	
	（医療法人社団三喜会）	稼働病床	140	365				505		(25床)	(39床)	(206床)					245	260	-	505	-		-	-	-	-	-	2018～19								
7	くず葉台病院	許可病床	40					40								40				40		40				40					特徴・得意分野としては、消化器外科、主に、下部消化器を中心に診療を行い、年間手術件数900件、内視鏡を使用したポリープ摘出340件を扱っている。肛門疾患等に力を入れている。 近隣の大学病院への紹介が円滑に行えるため、安定した医療の提供が可能。	消化器外科を中心に医療を提供しているため、訪問診療等の実現には抜本的な改革を検討中。病病及び病診連携は充実している。 大規模修繕を要する場所が散見される為、建替え又は改修工事の構想あり。 令和2年11月より休止中、早期再開にむけて医師・看護師の確保に取り組んでいる。		当院の規模的な特性と得意科目を活かした医療を地域の方々に提供していく。	島田内科医院　小松循環器内科　山口内科循環器科　秦野駅南口診療所　亀崎医院　安部内科胃腸科クリニック　宮崎内科　斉藤医院　みどりクリニック　おおり医院　りゅう医院	東海大学医学部付属病院 神奈川県立足柄上病院 秦野赤十字病院　伊勢原協同病院 東京女子医科大学病院 松島病院
	（医療法人社団仁輪会）	稼働病床	40					40								40				40	-	-	-	-	-	-	-									
8	八木病院	許可病床	94					94	○			○				61	33			94		61	33			94		●				建物の老朽化	・病棟の増改築（2019年1月工事完成）後、病床の一部を運用実績により回復期へ順次転換。2019年6月回復期リハ（33床）開設、そのうち17床を2022年4月を目安に地域包括ケアへ転換予定。 ・既存94床にて市内移転（2025年4月開設許可申請予定）。	地域密着の役割を果たすべき医療の展開を行う。	平塚共済病院	
	（医療法人杏林会）	稼働病床	80					80	告示・輪番			(33床)				47	33			80	-	-	-	-	-	-	-	2018～2022								
9	伊勢原日向病院	許可病床		202				202										202		202				202		202					1988年開院時より急性期病院の後方機能病院として運営 引き続き慢性期病院として地域医療に貢献 慢性腎不全の維持透析をはじめ慢性期の患者に広く対応する。	建物が築30年を経て、建て替えを視野に検討		引き続き慢性期を担う医療機関として運営する。	東海大学付属病院・伊勢原協同病院・平塚共済病院等	
	（医療法人社団三井会）	稼働病床		202				202										202		202	-	-	-	-	-	-	-									
	計	許可病床	733	1,090	0	0	0	1,823	0	0	0	0	0	0	8	445	328	1,042	0	1,823	8	445	328	974	0	1,755	108									
		稼働病床	497	1,090	0	0	0	1,587	0	(25床)	(39床)	(289床)	0	0	8	221	328	1,030	0	1,587	-	-	-	△68	-	△68	＋56									